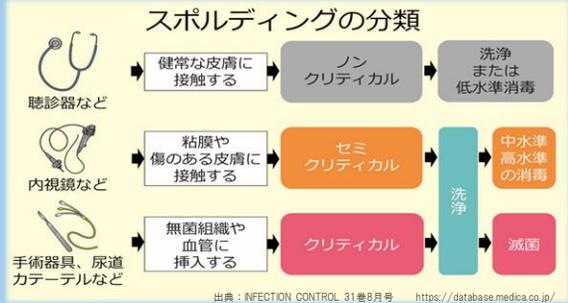




洗浄・消毒・滅菌について

使用した医療器具は未知の感染症に汚染されている可能性があるため、適切な処理が必要です。処理方法(洗浄or消毒or滅菌)は、使用した患者の感染症によって決めるのではなく、感染リスク別に適切な方法を選択しましょう。



洗浄

・ 対象物からあらゆる異物(汚染・有機物など)を除去すること

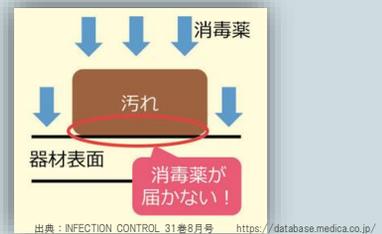
消毒

・ 対象とする微生物を、感染症をひき起こし得ない水準まで殺滅または減少させること

滅菌

・ 全ての微生物を殺滅または除去すること

器具に汚れが付着していると、消毒薬や滅菌剤が器具に届かず適切な消毒・滅菌ができません。消毒と滅菌の前にも『洗浄』が必要です。



適切に消毒を行うためには、正しい温度・時間・濃度を守ることが重要です。



手指消毒剤は、薄めずに20～30秒間擦り込みましょう。漬け置き消毒の場合、濃すぎる濃度調整は危険です。
内視鏡全自動洗浄機は、消毒薬の濃度低下に注意しましょう。



輸液セット・シリンジ・針など滅菌物の取り扱い

- ✓ 作業前には手指消毒を行う
- ✓ 汗などで濡れた手で扱わない
- ✓ 一度開封した滅菌物は未使用でも滅菌物とはみなさない
- ✓ 濡れた痕跡のあるものは不潔とみなす
- ✓ 滅菌パッケージにマジック等で文字を書かない